



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年7月31日

上場会社名 栗田工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6370 URL <http://www.kurita.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 門田 道也
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 増田 晋一 (TEL) (03) 6743-5054
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け電話会議)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績 (平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	48,300	4.1	3,520	△6.1	3,598	△5.4	2,483	△6.1
29年3月期第1四半期	46,386	9.2	3,748	19.6	3,804	7.6	2,645	12.6

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 2,480百万円 (157.3%) 29年3月期第1四半期 964百万円 (68.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	22 10	—
29年3月期第1四半期	22 77	—

(注) 平成30年3月期第1四半期について、日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)が所有する当社株式(取締役に対する業績連動型株式報酬信託分)を、1株当たり四半期純利益算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	290,470	223,094	76.4
29年3月期	299,249	228,758	76.1

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 221,958百万円 29年3月期 227,623百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	25 00	—	25 00	50 00
30年3月期	—				
30年3月期(予想)		26 00	—	26 00	52 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
第2四半期(累計)	104,000	0.2	7,700	△20.1	7,900	△18.0	5,300	△19.0	47 18	
通期	223,000	4.1	18,500	△4.9	19,000	△5.4	13,000	△10.4	115 76	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料11ページの「四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

30年3月期1Q	116,200,694株	29年3月期	119,164,594株
30年3月期1Q	3,929,609株	29年3月期	4,890,513株
30年3月期1Q	112,391,373株	29年3月期1Q	116,196,512株

(注) 期末自己株式数には、日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)が所有する当社株式(取締役に対する業績連動型株式報酬信託分)が29年3月期は339,800株、30年3月期1Qは338,200株含まれております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。なお、連結業績予想に関する事項は添付資料6ページをご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	11
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	11
(セグメント情報)	12
3. 補足情報	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

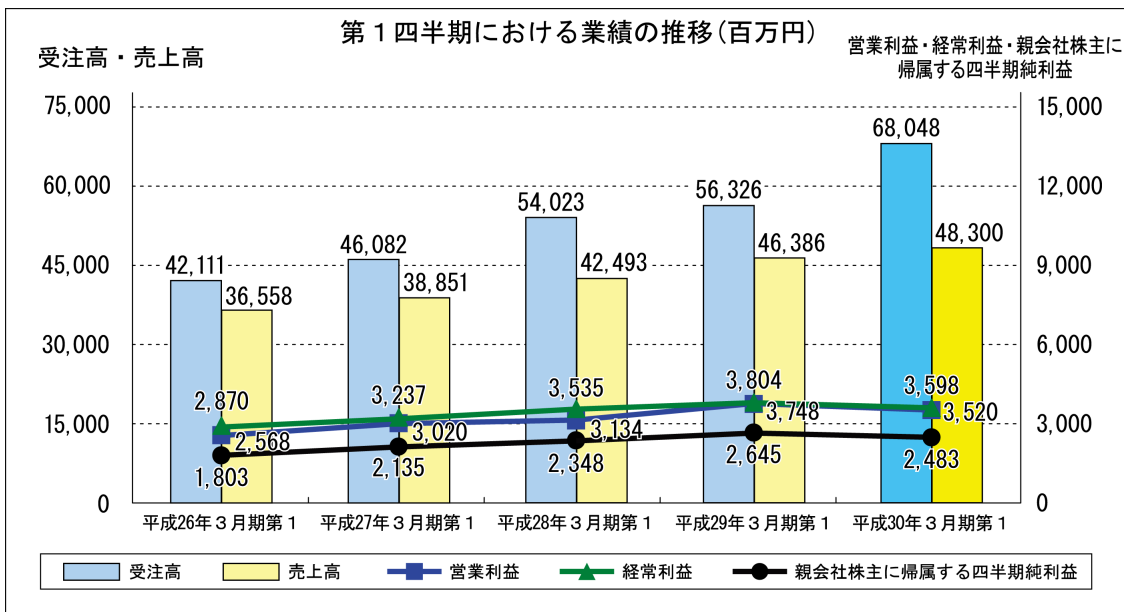
1) 当第1四半期の概況(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

当社グループを取り巻く市場環境は、国内では個人消費や輸出の回復により、製造業の生産活動や設備投資は持ち直しの動きがみられました。海外では、米国経済は堅調に推移し、欧州や中国をはじめとした新興国経済も持ち直しの動きが継続しました。

このような状況のもとで、当社グループは、IT・センシング技術を活用した競争力のある商品・サービスの開発・市場展開に取り組むとともに、環境負荷低減、省エネルギー、生産性の向上など顧客の課題解決に貢献するソリューション提案を推進しました。また、米国において買収したフレモント・インダストリーズ, LLCの経営成績を当第1四半期から新規に連結しました。

以上の結果、当社グループ全体の受注高は68,048百万円(前年同期比20.8%増)、売上高は48,300百万円(前年同期比4.1%増)となりました。

利益につきましては、営業利益3,520百万円(前年同期比6.1%減)、経常利益3,598百万円(前年同期比5.4%減)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,483百万円(前年同期比6.1%減)となりました。



2) セグメント別の概況

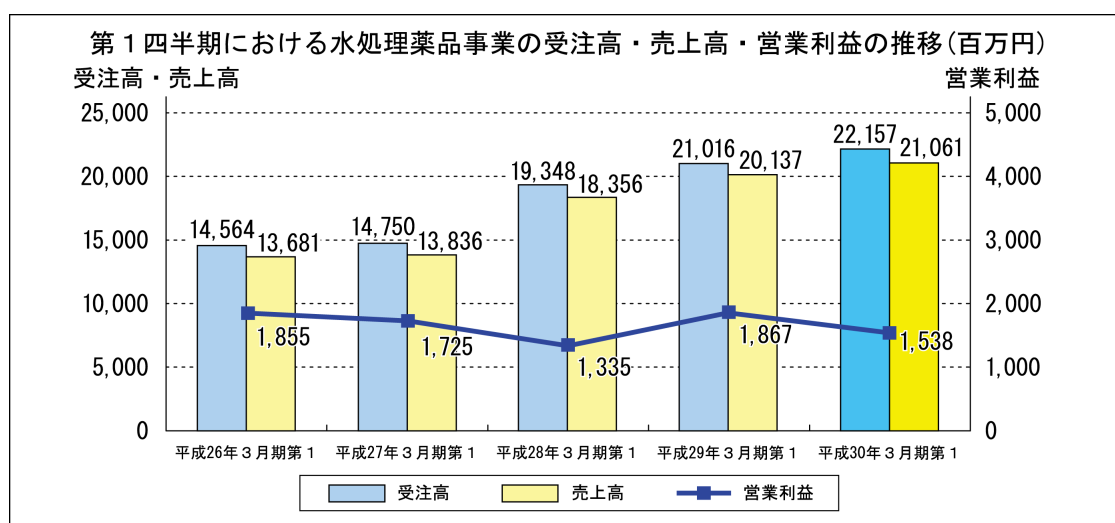
当社グループは、「水処理薬品事業」及び「水処理装置事業」の2つをセグメント情報における報告セグメントとしております。

①水処理薬品事業

国内では、顧客工場の操業度回復や新商品・新サービスを活用した課題解決提案により新規の顧客開拓に努めたことなどで、主力のボイラ薬品、冷却水薬品が伸長し、受注高・売上高は増加しました。海外では、アジアにおいて減収となりましたが、買収した米国子会社の経営成績を新規に連結したことにより、受注高・売上高ともに増加しました。

この結果、当社グループの水処理薬品事業全体の受注高は22,157百万円（前年同期比5.4%増）、売上高は21,061百万円（前年同期比4.6%増）となりました。

利益につきましては、アジアにおける減収の影響に加え、米国における会社買収に伴い発生したのれん等の無形固定資産の償却開始などにより販売費及び一般管理費が増加したことから、営業利益は1,538百万円（前年同期比17.6%減）となりました。



②水処理装置事業

国内では、電子産業分野向けの水処理装置の受注高は、大型案件の受注により増加し、売上高は、前連結会計年度に受注した大型案件の工事進捗により増加しました。メンテナンス・サービスの受注高・売上高は、顧客工場の稼働率上昇を背景とした増設、改造案件の受注により、ともに増加しました。

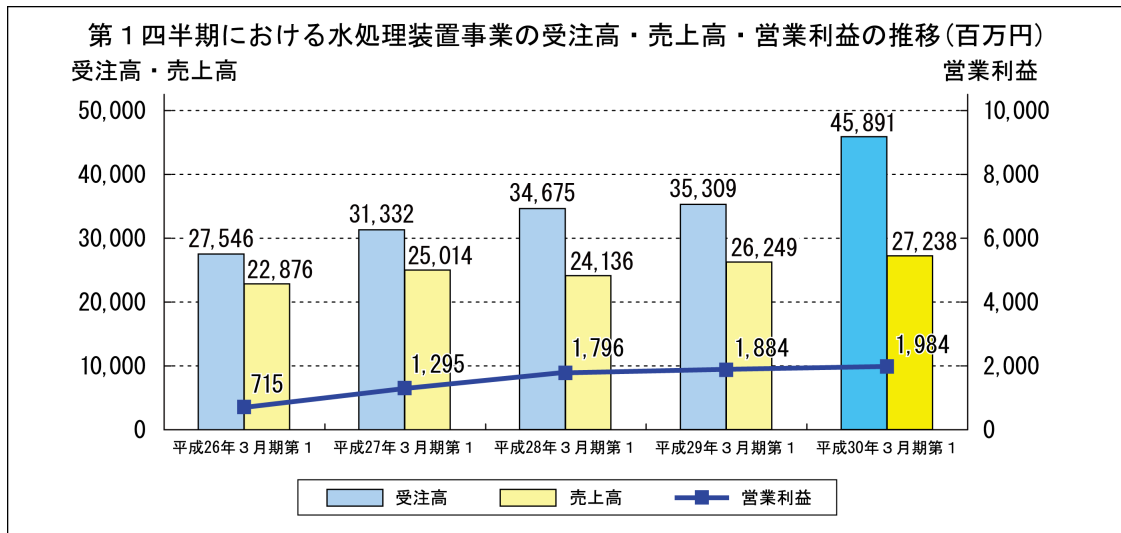
一般産業分野向けの水処理装置は、受注高・売上高ともに減少しましたが、メンテナンス・サービスの受注高・売上高は、顧客工場の設備更新や改造需要を中心に増加しました。電力分野向け水処理装置及び土壌浄化の受注高・売上高は、ともに増加しました。

海外では、受注高は、中国及び韓国的大型案件の受注により大幅に増加し、売上高も前連結会計年度に受注した案件の工事進捗により増加しました。

なお、超純水供給事業の国内及び海外を合わせた売上高は、増設案件による新たな収益計上があったものの、前連結会計年度における一部顧客との契約変更による減収の影響があり、減少しました。

これらの結果、当社グループの水処理装置事業全体の受注高は、45,891百万円（前年同期比30.0%増）、売上高は、27,238百万円（前年同期比3.8%増）となりました。

利益につきましては、売上高が増加したことにより営業利益は1,984百万円（前年同期比5.3%増）となりました。



(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末における流動資産は、146,694百万円となり、前連結会計年度末に比べ9,236百万円減少しました。これは主に仕掛品が2,205百万円増加した一方で、現金及び預金が6,889百万円、受取手形と売掛金を合わせた売上債権が4,880百万円それぞれ減少したことによるものであります。仕掛品の増加は、主に水処理装置事業の工事進捗によるものであります。現金及び預金の減少は、主に自己株式を市場買付等により5,586百万円取得したことによるものであります。売上債権の減少は、主に回収が順調であったことと、前連結会計年度の第4四半期と比べ当第1四半期の売上水準が低下したことによるものであります。

固定資産は、143,775百万円となり、前連結会計年度末に比べ457百万円増加しました。これは有形固定資産が563百万円、投資その他の資産が907百万円それぞれ増加した一方で、無形固定資産が1,011百万円減少したことによるものであります。投資その他の資産の増加は、主に保有する株式の時価上昇により投資有価証券の含み益が増加したことによるものであります。無形固定資産の減少は、主にのれんと顧客関連資産等の償却が進んだことと、円高外国通貨安により外貨建資産が減少したことによるものであります。

流動負債は、41,267百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,143百万円減少しました。これは主に買掛金が3,862百万円、未払法人税等が1,743百万円、引当金が1,074百万円それぞれ減少した一方で、流動負債のその他が2,824百万円増加したことによるものであります。

固定負債は、26,109百万円となり、前連結会計年度末に比べ29百万円増加しました。

純資産合計は、223,094百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,664百万円減少しました。これは主に株主資本が5,965百万円減少した一方で、その他の包括利益累計額が300百万円増加したことによるものであります。株主資本の減少は、利益剰余金が8,907百万円減少した一方で、自己株式が2,942百万円減少（純資産は増加）したことによるものであります。利益剰余金の減少は、当第1四半期連結累計期間における親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により2,483百万円増加した一方で、前連結会計年度の期末配当金2,865百万円及び自己株式の消却8,525百万円により11,390百万円減少したことによるものであります。自己株式の減少（純資産の増加）は、市場買付等により5,586百万円増加した一方で、消却等により8,528百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績につきましては、平成29年4月28日発表の「平成29年3月期 決算短信」に記載しました平成30年3月期の第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想のとおり推移するものと考えております。四半期業績の推移は以下に記載のとおりであります。

○参考情報

四半期業績の推移

(単位：百万円)

		平成28年3月期				平成29年3月期				平成30年3月期	
		第1	第2	第3	通期	第1	第2	第3	通期	第1	通期予想
受注高	水処理薬品	19,348	41,335	62,133	83,440	21,016	42,005	61,246	82,118	22,157	89,500
	対通期比(%)	23.2	49.5	74.5	100.0	25.6	51.2	74.6	100.0	24.8	100.0
	水処理装置	34,675	68,664	97,094	137,832	35,309	70,476	100,868	136,611	45,891	131,500
売上高	対通期比(%)	25.2	49.8	70.4	100.0	25.8	51.6	73.8	100.0	34.9	100.0
	合計	54,023	110,000	159,228	221,273	56,326	112,481	162,115	218,730	68,048	221,000
	対通期比(%)	24.4	49.7	72.0	100.0	25.8	51.4	74.1	100.0	30.8	100.0
営業利益	水処理薬品	18,356	40,595	62,060	83,680	20,137	41,451	61,276	81,883	21,061	89,400
	対通期比(%)	21.9	48.5	74.2	100.0	24.6	50.6	74.8	100.0	23.6	100.0
	水処理装置	24,136	57,322	86,801	130,692	26,249	62,360	90,810	132,304	27,238	133,600
経常利益	対通期比(%)	18.5	43.9	66.4	100.0	19.8	47.1	68.6	100.0	20.4	100.0
	合計	42,493	97,918	148,862	214,372	46,386	103,811	152,086	214,187	48,300	223,000
	対通期比(%)	19.8	45.7	69.4	100.0	21.7	48.5	71.0	100.0	21.7	100.0
親会社株主に帰属する当期純利益	営業利益	3,134	9,133	14,040	19,833	3,748	9,643	13,646	19,452	3,520	18,500
	対通期比(%)	15.8	46.0	70.8	100.0	19.3	49.6	70.2	100.0	19.0	100.0
親会社株主に帰属する当期純利益	経常利益	3,535	9,490	14,735	20,439	3,804	9,639	14,104	20,074	3,598	19,000
	対通期比(%)	17.3	46.4	72.1	100.0	18.9	48.0	70.3	100.0	18.9	100.0
親会社株主に帰属する当期純利益	親会社株主に帰属する当期純利益	2,348	5,764	9,314	12,577	2,645	6,542	10,144	14,506	2,483	13,000
	対通期比(%)	18.7	45.8	74.1	100.0	18.2	45.1	69.9	100.0	19.1	100.0

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	72,750	65,861
受取手形	7,843	8,998
売掛金	60,439	54,404
有価証券	603	586
製品	3,114	3,340
仕掛品	4,181	6,386
原材料及び貯蔵品	2,229	2,242
その他	5,016	5,113
貸倒引当金	△246	△238
流動資産合計	155,930	146,694
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	13,203	12,518
機械及び装置（純額）	35,936	35,137
その他（純額）	24,896	26,943
有形固定資産合計	74,036	74,599
無形固定資産		
のれん	15,049	14,372
その他	10,259	9,925
無形固定資産合計	25,308	24,297
投資その他の資産		
投資有価証券	34,844	36,691
その他	9,317	8,372
貸倒引当金	△189	△185
投資その他の資産合計	43,972	44,879
固定資産合計	143,318	143,775
資産合計	299,249	290,470
負債の部		
流動負債		
支払手形	1,710	2,423
買掛金	21,715	17,853
未払法人税等	2,875	1,132
引当金	3,244	2,170
その他	14,863	17,687
流動負債合計	44,410	41,267
固定負債		
退職給付に係る負債	16,054	16,242
引当金	25	109
その他	9,999	9,757
固定負債合計	26,080	26,109
負債合計	70,490	67,376

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,450	13,450
資本剰余金	10,993	10,993
利益剰余金	205,586	196,679
自己株式	△13,891	△10,949
株主資本合計	216,138	210,173
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,792	16,001
繰延ヘッジ損益	670	192
土地再評価差額金	△380	△380
為替換算調整勘定	△3,593	△4,026
退職給付に係る調整累計額	△3	△2
その他の包括利益累計額合計	11,484	11,784
非支配株主持分	1,135	1,136
純資産合計	228,758	223,094
負債純資産合計	299,249	290,470

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	46,386	48,300
売上原価	30,296	31,597
売上総利益	16,090	16,702
販売費及び一般管理費	12,342	13,181
営業利益	3,748	3,520
営業外収益		
受取利息	55	48
受取配当金	244	267
持分法による投資利益	44	31
その他	81	134
営業外収益合計	425	482
営業外費用		
支払利息	49	119
為替差損	218	158
その他	100	127
営業外費用合計	369	405
経常利益	3,804	3,598
税金等調整前四半期純利益	3,804	3,598
法人税等	1,135	1,072
四半期純利益	2,669	2,525
非支配株主に帰属する四半期純利益	24	42
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,645	2,483

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	2,669	2,525
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,119	1,202
繰延ヘッジ損益	912	△477
為替換算調整勘定	△1,455	△805
退職給付に係る調整額	20	0
持分法適用会社に対する持分相当額	△63	34
その他の包括利益合計	△1,705	△45
四半期包括利益	964	2,480
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	968	2,460
非支配株主に係る四半期包括利益	△3	20

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)

①平成29年2月28日開催の取締役会決議に基づき、自己株式2,004,400株を取得しております。この結果、自己株式が5,586百万円増加しております。

②平成29年3月30日開催の取締役会決議に基づき、自己株式を以下のとおり消却しております。この結果、株主資本合計には影響ありませんが、自己株式が8,525百万円減少(株主資本の増加)し、利益剰余金が同額減少しております。

1) 消却した株式の種類

当社普通株式

2) 消却した株式の数

2,963,900株

3) 消却額

8,525百万円

4) 消却日

平成29年4月6日

5) 消却後の発行済株式総数

116,200,694株

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	水処理薬品 事業	水処理装置 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	20,137	26,249	46,386	—	46,386
セグメント間の内部売上高 又は振替高	47	49	97	△97	—
計	20,185	26,298	46,484	△97	46,386
セグメント利益	1,867	1,884	3,751	△3	3,748

(注) 1. 調整額のうち売上高は、セグメント間取引消去額であり、セグメント利益は、セグメント間取引消去に伴うものであります。

2. セグメント利益欄は、営業利益の数値であります。

当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	水処理薬品 事業	水処理装置 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	21,061	27,238	48,300	—	48,300
セグメント間の内部売上高 又は振替高	63	29	93	△93	—
計	21,125	27,267	48,393	△93	48,300
セグメント利益	1,538	1,984	3,523	△2	3,520

(注) 1. 調整額のうち売上高は、セグメント間取引消去額であり、セグメント利益は、セグメント間取引消去に伴うものであります。

2. セグメント利益欄は、営業利益の数値であります。

3. 補足情報

(1) 受注高

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	
	金額	構成比	金額	構成比
水処理薬品事業(百万円)	21,016	37.3%	22,157	32.6%
水処理装置事業(百万円)	35,309	62.7	45,891	67.4
合計(百万円)	56,326	100.0	68,048	100.0

(2) 売上高

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	
	金額	構成比	金額	構成比
水処理薬品事業(百万円)	20,137	43.4%	21,061	43.6%
水処理装置事業(百万円)	26,249	56.6	27,238	56.4
合計(百万円)	46,386	100.0	48,300	100.0

(3) 設備投資額(有形固定資産)

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	
	金額	構成比	金額	構成比
水処理薬品事業(百万円)	347	22.1%	382	10.5%
水処理装置事業(百万円)	1,224	77.9	3,269	89.5
合計(百万円)	1,571	100.0	3,651	100.0

(4) 減価償却費(有形固定資産)

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	
	金額	構成比	金額	構成比
水処理薬品事業(百万円)	387	11.5%	414	12.7%
水処理装置事業(百万円)	2,987	88.5	2,841	87.3
合計(百万円)	3,374	100.0	3,255	100.0